

平成24年度東京都病院会計決算審査意見書

第1 審査の概要

- 1 審査の対象 平成24年度東京都病院会計
- 2 対象局 病院経営本部
- 3 審査の方法

この決算審査に当たっては、知事から提出された決算書類が、病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するため、決算諸表、総勘定元帳その他の帳簿及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

あわせて、事業運営について、経済性の発揮及び公共性の確保の観点からも審査を実施した。

- 4 審査の期間 平成25年6月3日から同年9月3日まで

第2 審査の結果

- 1 決算諸表について

審査に付された病院会計の決算諸表は、前記の方法により審査した限りにおいて、病院事業の経営成績及び財政状態を、別項指摘事項を除き適正に表示しているものと認められる。

- 2 事業運営について

当年度の病院事業は、普通病院6、小児病院1、精神科病院1の計8病院において、病床数4,992床の施設規模により運営され、年間延べ患者数は、入院155万2,293人、外来189万8,700人である。

これを前年度と比較すると、入院では3,795人、外来では2万9,250人、それぞれ増加している。この要因は、再編整備を行った駒込病院が年間を通じて本格稼動したことなどによるものである。

損益の状況は、総収益1,525億余円に対し、総費用1,526億余円であり、差引き1億余円の純損失となっている。

資産及び負債・資本の状況は、資産2,622億余円、負債184億余円及び資本2,437億余円となっている。

経営状況は、再編整備に伴う資産の除却などにより特別損失を計上したことから、1億余円の純損失が生じているものの、前年度と比較して21億余円減少しており、改善されている。

一方、再編整備に伴い高水準にある減価償却費は、松沢病院本館診療棟の減価償却開始等により、前年度と比較して10億余円増加している。また、今後も墨東病院の増築棟建設により、更なる増加が見込まれる。

このことから、病院経営本部が継続的かつ安定的な行政的医療を提供するためには、再編整備により増強した医療機能を各病院の強みとして、収益力強化及びコスト縮減に取り組み、経営基

盤を強化していく必要がある。

3 指摘事項

(1) 決算に関するもの

ア 医業外未収金を適正に計上すべきもの

本部は、平成22年度に収入済みである非常勤職員雇用保険料及び平成23年度に収入済みである実習謝礼金を医業外未収金として計上している。

これは、多摩総合医療センターにおいて、誤って収入調定を重複して行ったにもかかわらず、誤調定分の更正処理を行っていないことによるものである。

この結果、医業外未収金が合計で5万3,836円過大計上となっている。

本部は、医業外未収金を適正に計上されたい。

イ 現金及び医業未払金を適正に計上すべきもの

本部は、資金前渡受者が資金前渡を受けた夜間看護従事者に対するタクシー代について、当該従事者へ支払ったものとして処理している。

しかしながら、多摩総合医療センターにおいて、平成24年度末現在においても支払が済んでおらず、現金を金庫に保管していることが認められた。

この結果、現金及び医業未払金が、それぞれ2万8,010円過小計上となっている。

本部は、現金及び医業未払金を適正に計上されたい。

第3 経営状況の概要

1 経営成績について

(1) 事業実績について

ア 入院患者実績について

入院患者実績は、表1のとおり、155万2,293人であり、前年度(154万8,498人)と比較して3,795人(0.2%)増加している。これは主に、再編整備を行った駒込病院が年間を通じて本格稼動したことによるものである。

(表 1) 入院患者の実績比較表

(単位：床、人、%)

区 分	平成24年度			平成23年度			増(△)減			
	病床数	一日当たり	年延べ (A)	病床数	一日当たり	年延べ (B)	病床数	一日当たり	年延べ (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
普通病院	3,553	3,062	1,117,712	3,553	3,045	1,114,328	0	17	3,384	0.3
広 尾	476	374	136,629	476	399	146,159	0	△ 25	△ 9,530	△ 6.5
大 塚	500	431	157,318	500	424	155,115	0	7	2,203	1.4
駒 込	801	674	246,038	801	634	232,123	0	40	13,915	6.0
墨 東	729	652	238,164	729	651	238,385	0	1	△ 221	△ 0.1
多摩総合	751	683	249,063	751	684	250,146	0	△ 1	△ 1,083	△ 0.4
神 経	296	248	90,500	296	253	92,400	0	△ 5	△ 1,900	△ 2.1
小児病院	549	453	165,309	549	440	161,155	0	13	4,154	2.6
小児総合										
精神科病院	890	738	269,272	862	746	273,015	28	△ 8	△ 3,743	△ 1.4
松 沢										
合 計	4,992	4,253	1,552,293	4,964	4,231	1,548,498	28	22	3,795	0.2

(注) 1 病床数は、予算定床数である。

2 一日当たり患者数は、年延べ患者数を暦日(平成23年度は366日)で除したものである。

病床種別の病床数及び病床利用率は、表2のとおりである。予算における病床数は、4,992床であり、前年度(4,964床)と比較して28床増加している。これは、再編整備を行った松沢病院が本格稼動したことによるものである。

病床利用率は、85.2%であり、前年度と同水準である。

(表 2) 病床種別の病床数及び病床利用率比較表

(単位：床、人、%)

区 分	平成24年度 (A)				平成23年度 (B)				増(△)減 (C)=(A)-(B)			
	病床数	一日当たり	年延べ	利用率	病床数	一日当たり	年延べ	利用率	病床数	一日当たり	年延べ	利用率
普通病床	3,802	3,322	1,212,410	87.4	3,769	3,286	1,202,534	87.2	33	36	9,876	0.2
精神病床	1,090	906	330,836	83.2	1,095	919	336,224	83.9	△ 5	△ 13	△ 5,388	△ 0.7
結核病床	60	25	9,023	41.2	60	26	9,672	44.0	0	△ 1	△ 649	△ 2.8
感染症病床	40	0	24	0.2	40	0	68	0.5	0	0	△ 44	△ 0.3
合 計	4,992	4,253	1,552,293	85.2	4,964	4,231	1,548,498	85.2	28	22	3,795	0.0

(注) 1 病床数は、予算定床数である。

2 病床利用率は、年延べ患者数を病床数×暦日(平成23年度は366日)で除したものである。

3 精神病床は広尾・墨東・多摩総合・小児総合・松沢に、結核病床は多摩総合・小児総合に、感染症病床は駒込・墨東に設置している。

イ 外来患者実績について

外来患者実績は、表3のとおり、189万8,700人であり、前年度(186万9,450人)と比較して2万9,250人(1.6%)増加している。これは主に、再編整備を行った4病院(駒込病院、多摩総合医療センター、小児総合医療センター、松沢病院)及び大塚病院において、新来患者がそれぞれ増加したことによるものである。

(表3) 外来患者の実績比較表

(単位：人、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		増(△) 減		
	一日当たり	年延べ (A)	一日当たり	年延べ (B)	一日当たり	年延べ (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
普通病院	5,446	1,595,714	5,363	1,582,109	83	13,605	0.9
広 尾	741	217,111	738	217,795	3	△ 684	△ 0.3
大 塚	859	251,609	823	242,711	36	8,898	3.7
駒 込	1,143	335,068	1,126	332,289	17	2,779	0.8
墨 東	1,163	340,747	1,169	344,825	△ 6	△ 4,078	△ 1.2
多摩総合	1,523	446,323	1,489	439,352	34	6,971	1.6
神 経	17	4,856	18	5,137	△ 1	△ 281	△ 5.5
小児病院	665	194,874	623	183,844	42	11,030	6.0
小児総合							
精神科病院	369	108,112	351	103,497	18	4,615	4.5
松 沢							
合 計	6,480	1,898,700	6,337	1,869,450	143	29,250	1.6

(注) 一日当たり患者数は、年延べ患者数を診療日数(平成24年度293日、平成23年度295日)で除したものである。

(2) 経営成績について

経営成績は、表4(詳細は、別表1比較損益計算書)のとおりである。

医業損失は、155億余円であり、前年度(198億余円)と比較して、42億余円(21.6%)減少している。経常利益は、28億余円であり、前年度(14億余円)と比較して、13億余円(90.3%)増加している。

この結果、純損失は1億余円であり、前年度(23億余円)と比較して、21億余円(94.9%)減少している。

(表4) 経営成績比較表

(単位：百万円、%)

区 分		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増(△) 減	
				金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
	医 業 収 益	127,858	120,860	6,997	5.8
	医 業 費 用	143,426	140,711	2,714	1.9
	医 業 損 失	15,567	19,850	△ 4,283	△ 21.6
	医 業 外 収 益	24,659	27,412	△ 2,753	△ 10.0
	医 業 外 費 用	6,249	6,067	181	3.0
	経 常 利 益	2,842	1,493	1,348	90.3
	特 別 利 益	6	547	△ 540	△ 98.8
	特 別 損 失	2,965	4,354	△ 1,388	△ 31.9
	純 損 失	117	2,313	△ 2,196	△ 94.9

ア 収益について

総収益は、表５のとおり、１，５２５億余円であり、前年度（１，４８８億余円）と比較して、３７億余円（２．５％）増加している。これは主に、医業外収益が２７億余円減少しているものの、医業収益が６９億余円増加していることによるものである。

医業収益は１，２７８億余円であり、前年度（１，２０８億余円）と比較して、６９億余円（５．８％）増加している。これは主に、入院収益が４１億余円増加したことによるものである。入院収益の増加は、駒込病院の本格稼働により入院患者数が増加したこと及び平均在院日数の短縮化などにより一人当たり入院単価が増加したことによるものである。

医業外収益は２４６億余円であり、前年度（２７４億余円）と比較して、２７億余円（１０．０％）減少している。これは主に、一般会計補助金が２８億余円減少したことによるものである。

（表５）収益比較表

（単位：百万円、％）

区 分		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増（△）減	
				金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医業収益		127,858	120,860	6,997	5.8
	入院収益	78,136	73,963	4,172	5.6
	外来収益	26,936	25,353	1,583	6.2
	一般会計負担金	20,895	19,805	1,089	5.5
	その他医業収益	1,890	1,738	152	8.8
医業外収益		24,659	27,412	△ 2,753	△ 10.0
	受取利息及配当金	3,104	3,005	99	3.3
	一般会計負担金	1,255	1,303	△ 47	△ 3.7
	一般会計補助金	17,738	20,560	△ 2,821	△ 13.7
	国庫補助金	341	514	△ 172	△ 33.6
	その他医業外収益	2,218	2,029	189	9.3
特別利益		6	547	△ 540	△ 98.8
総収益		152,524	148,820	3,703	2.5

一般会計からの繰入金は、表６のとおり、３９８億余円であり、前年度（４１６億余円）と比較して、１７億余円減少している。これは主に、補助対象事業に係る関係収入が増加したことにより、一般会計補助金が２８億余円減少したことによるものである。

（表６）一般会計繰入金内訳比較表

（単位：百万円）

区 分		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増（△）減 (C)=(A)-(B)
一般会計負担金		22,151	21,109	1,041
	医業収益	20,895	19,805	1,089
	救急医療経費	5,747	5,781	△ 34
	精神科病院運営経費	10,893	9,143	1,749
	小児医療経費	2,734	3,231	△ 496
	保健衛生行政経費	1,519	1,648	△ 128
	医業外収益	1,255	1,303	△ 47
	建設又は改良に要する経費	1,255	1,303	△ 47
一般会計補助金		17,738	20,560	△ 2,821
	医業外収益	17,738	20,560	△ 2,821
	高度医療経費	9,073	11,002	△ 1,928
	特殊医療経費	7,747	8,599	△ 851
	建設又は改良に要する経費	917	958	△ 40
合 計		39,890	41,669	△ 1,779

（注）一般会計繰入金は、関係経費（給与費、材料費等経費）から関係収入（入院・外来収益、国庫補助金等）を控除した額を対象としている。

イ 費用について

総費用は、表７のとおり、１，５２６億余円であり、前年度（１，５１１億余円）と比較して、１５億余円（１．０％）増加している。

医業費用は、１，４３４億余円であり、前年度（１，４０７億余円）と比較して、２７億余円（１．９％）増加している。これは主に、本館診療棟での運営を開始した松沢病院の委託料など経費が１７億余円、減価償却費が１０億余円増加したことによるものである。

医業外費用は、６２億余円であり、前年度（６０億余円）と比較して、１億余円（３．０％）増加している。

特別損失は、２９億余円であり、これは主に、旧梅ヶ丘病院及び旧清瀬小児病院の固定資産除却が発生したことによるものである。

なお、給与費・職員数等については、表８のとおりである。

(表 7) 費用比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増(△)減	
			金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医業費用	143,426	140,711	2,714	1.9
給与費	70,904	70,883	20	0.0
材料費	12,763	12,911	△ 147	△ 1.1
経費	44,383	42,648	1,735	4.1
減価償却費	14,223	13,211	1,012	7.7
資産減耗費	179	81	98	120.9
研究研修費	971	975	△ 4	△ 0.4
医業外費用	6,249	6,067	181	3.0
支払利息及企業債取扱諸費	2,173	2,259	△ 86	△ 3.8
繰延勘定償却	727	683	44	6.5
雑支出	3,349	3,125	224	7.2
特別損失	2,965	4,354	△ 1,388	△ 31.9
総費用	152,641	151,134	1,507	1.0

(表 8) 給与費明細比較表

(単位：百万円)

区 分	平成24年度	平成23年度	増(△)減
給料	25,277	25,302	△ 25
手当	25,287	25,326	△ 38
法定福利費	9,379	9,891	△ 512
計	59,944	60,521	△ 576
職員数	6,602人	6,629人	△ 27人
平均年齢	40歳6月	40歳4月	0歳2月
職員一人当たり給与費	7,576千円	7,543千円	33千円

(注) 1 職員数及び平均年齢は、年度末現在である。また、職員数には、再任用短時間勤務者（平成24年度151人、平成23年度157人）を含む。

2 職員一人当たり給与費は、(給料+手当)÷月当たり平均職員数である。

3 職員は、全て損益勘定部門に所属している。

事業の収益性を示す経営指標は、表 9 のとおりである。当年度は、医業収益の伸びが医業費用の伸びを上回ったことにより、全ての項目において、前年度より改善している。自己収支比率については、2. 6 ポイント改善し、7 5. 2 %となっている。

(表 9) 経営比率の推移

(単位：%)

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	算 式
経営資本 営業利益率	△ 12. 4	△ 10. 1	△ 10. 0	△ 8. 1	△ 6. 9	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}}$
営業収益 営業利益率	△ 21. 1	△ 22. 3	△ 20. 5	△ 16. 4	△ 12. 2	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}}$
総費用対 総収益比率	98. 8	92. 1	99. 7	101. 6	100. 1	$\frac{\text{総費用}}{\text{総収益}}$
自己収支比率	70. 4	67. 0	69. 3	72. 6	75. 2	$\frac{\text{病院事業収益}}{\text{病院事業費用}}$

(注) 自己収支比率＝病院事業収益（一般会計繰入金及び特別利益を除く。）÷病院事業費用（特別損失を除く。）

2 財政状態について

(1) 資本的収支について

資本取引に係る資金の動きを示す資本的収支の状況は、表 1 0 のとおりである。

資本的収入は、7 0 億余円であり、前年度(1 5 6 億余円)と比較して、8 5 億余円(5 4. 8 %)減少している。これは主に、企業債が1 2 5 億余円(8 0. 4 %)減少し、一般会計出資金が4 0 億円増加したことによるものである。

資本的支出は、1 0 9 億余円であり、前年度(2 8 6 億余円)と比較して、1 7 6 億余円(6 1. 8 %)減少している。これは主に、建設改良費が1 6 9 億余円(7 3. 5 %)減少したことによるものである。

資金収支の状況は、表 1 1 のとおり、資本的収支資金不足額は、3 8 億余円となっており、これを損益勘定留保資金等で補填した結果、当年度資金剰余額は、1 2 6 億余円となっている。

なお、当年度末における資金残高は、表 1 2 のとおりである。

(表 1 0) 資本的収支比較表

(単位：百万円、%)

区 分		平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	増 (△) 減	
				金 額 (C) = (A) - (B)	率 (C) / (B) × 100
資本的 収入	企業債	3,052	15,570	△ 12,517	△ 80.4
	固定資産売却収入	0	22	△ 22	△ 99.9
	その他資本収入	1	9	△ 8	△ 86.5
	一般会計出資金	4,000	0	4,000	—
	計	7,054	15,602	△ 8,548	△ 54.8
資本的 支出	建設改良費	6,110	23,048	△ 16,937	△ 73.5
	企業債償還金	4,802	5,552	△ 750	△ 13.5
	計	10,912	28,601	△ 17,688	△ 61.8
差引資本的収支		△ 3,858	△ 12,998	9,139	△ 70.3

(表 1 1) 資金収支表

(単位：百万円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出 (A)	10,912	資本的収入 (B)	7,054
翌年度繰越工事資金 (C)	15	前年度繰越工事資金 (D)	71
計 (E) = (A) + (C)	10,928	計 (F) = (B) + (D)	7,126
		資本的収支資金不足額 (G) = (F) - (E)	3,802
		< 補填財源内訳 >	
		当期純利益	△ 117
		年賦未収金	2,298
		不動産信託受益権	△ 3,058
		損益勘定留保資金	17,311
		(減価償却費)	14,223
		(繰延勘定償却)	727
		(企業債発行差金)	0
		(固定資産除却費等)	2,359
		消費税資本的収支調整額等	18
		計 (H)	16,452
収益の収支資金剰余額 (I) = (H)	16,452		
当年度資金剰余額 (J) = (I) - (G)	12,650		
合計 (E) + (J)	23,578	合計 (F) + (H)	23,578

(表 1 2) 年度末資金残高表

(単位：百万円)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
流動資産 (A)	73,605	83,723	76,560	78,831	68,313
流動負債 (B)	40,000	48,953	40,564	41,548	18,435
年度末資金残高 (A-B)	33,604	34,770	35,996	37,283	49,877

(2) 資産及び負債・資本について

当年度末の資産及び負債・資本の状況は、別表 2 比較貸借対照表のとおりである。

資産合計は、2,622 億余円で、前年度（2,832 億余円）と比較して、209 億余円（7.4%）減少している。これは主に、固定資産が100 億余円、流動資産が105 億余円、それぞれ減少したことによるものである。

固定資産の減少は、主に、旧梅ヶ丘病院及び旧清瀬小児病院の建物並びに松沢病院の旧病棟を除却したことなどにより、有形固定資産が90 億余円減少したことによるものである。

流動資産の減少は、主に、現金預金が102 億余円減少したことによるものである。

負債合計は、184 億余円であり、前年度（415 億余円）と比較して、231 億余円（55.6%）減少している。これは主に、未払金が231 億余円減少したことによるものである。

未払金の減少は、主に、駒込病院及び松沢病院の再編整備が終了したことにより建設改良未払金が167 億余円、医業未払金が25 億余円、その他未払金が33 億余円、それぞれ減少したことによるものである。

資本合計は、2,437 億余円であり、前年度（2,416 億余円）と比較して、21 億余円（0.9%）増加している。これは、企業債の償還により借入資本金が17 億余円減少したものの、一般会計出資金により自己資本金が40 億円増加したことによるものである。

次に、有利子負債及び支払利息等の状況は、表 1 3 のとおりであり、有利子負債は、17 億余円減少している。

(表 1 3) 有利子負債及び支払利息等の状況

(単位：百万円)

区 分		平成24年度末 残高 (A)	平成24年度		平成23年度末 残高 (B)	増 (△) 減 (A)-(B)
			増 加	減 少		
有利子負債	企業債	126,113	3,053	4,802	127,862	△ 1,749
区 分		平成24年度支払額 (C)		平成23年度支払額 (D)		増 (△) 減 (C)-(D)
支払利息等	支払利息及 企業債取扱諸費	2,172		2,256		△ 84

以上の財政状態を財務比率の推移で見ると、表１４のとおりである。

駒込病院及び松沢病院の再編整備が終了したことによる未払金の減少並びに一般会計出資金による自己資本金の増加などにより、全ての項目において、改善している。

（表１４）財務比率の推移

（単位：％）

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	算 式
流動比率	184.0	171.0	188.7	189.7	370.5	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
自己資本構成比率	39.7	42.8	42.3	40.2	44.9	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$
固定長期適合率	81.6	81.7	82.0	81.9	77.1	$\frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本}}$

（注）１ 自己資本＝自己資本金＋剰余金

２ 長期資本＝資本金（自己資本金＋借入資本金）＋剰余金＋固定負債

３ 建設改良事業について

建設改良事業は、建設改良工事、器械及備品の整備を行っており、表１５のとおり、予算額８６億余円に対し、決算額６１億余円であり、執行率７１．０％となっている。

（表１５）建設改良事業執行状況

（単位：百万円、％）

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B) / (A) × 100	翌年度への 繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)
建設改良工事	4,241	2,946	69.5	15	1,279
器械及備品	4,369	3,164	72.4	0	1,205
計	8,610	6,110	71.0	15	2,484

（１）建設改良工事について

建設改良工事は、予算額４２億余円に対し、決算額２９億余円となっている。

工事の主なものは、松沢病院の再編整備（１７億余円）、墨東病院の病棟等改築工事（５億余円）である。

執行率は６９．５％となっているが、これは、不用額が都立病院の建物維持補修等の執行残などにより１２億余円生じたことによるものである。

（２）器械及備品の整備について

器械及備品の整備は、予算額４３億余円に対し、決算額３１億余円となっている。

整備購入した医療器械の主なものは、墨東病院の生理検査システム外 79 件（6 億余円）、広尾病院の血管連続撮影装置外 52 件（6 億余円）などである。

執行率は 72.4％となっているが、これは、不用額が医療器械等整備の執行残などにより 12 億余円生じたことによるものである。

(別表1) 比較損益計算書

(単位：円、%)

科 目	平成24年度	平成23年度	増 (△) 減	
	金 額 (A)	金 額 (B)	金 額 (C) = (A) - (B)	率 (C) / (B) × 100
医業収益	127,858,580,908	120,860,847,317	6,997,733,591	5.8
入院収益	78,136,005,419	73,963,438,271	4,172,567,148	5.6
外来収益	26,936,451,883	25,353,134,912	1,583,316,971	6.2
一般会計負担金	20,895,421,000	19,805,761,000	1,089,660,000	5.5
その他医業収益	1,890,702,606	1,738,513,134	152,189,472	8.8
医業費用	143,426,223,341	140,711,550,660	2,714,672,681	1.9
給与費	70,904,683,262	70,883,846,415	20,836,847	0.0
材料費	12,763,823,366	12,911,686,422	△ 147,863,056	△ 1.1
経費	44,383,155,332	42,648,084,063	1,735,071,269	4.1
減価償却費	14,223,952,638	13,211,086,076	1,012,866,562	7.7
資産減耗費	179,187,789	81,126,972	98,060,817	120.9
研究研修費	971,420,954	975,720,712	△ 4,299,758	△ 0.4
医業損失	15,567,642,433	19,850,703,343	△ 4,283,060,910	△ 21.6
医業外収益	24,659,295,543	27,412,477,981	△ 2,753,182,438	△ 10.0
受取利息及配当金	3,104,499,785	3,005,055,371	99,444,414	3.3
一般会計負担金	1,255,892,000	1,303,627,000	△ 47,735,000	△ 3.7
一般会計補助金	17,738,775,000	20,560,041,000	△ 2,821,266,000	△ 13.7
国庫補助金	341,474,396	514,422,780	△ 172,948,384	△ 33.6
その他医業外収益	2,218,654,362	2,029,331,830	189,322,532	9.3
医業外費用	6,249,540,848	6,067,987,753	181,553,095	3.0
支払利息及企業債取扱諸費	2,173,008,277	2,259,731,780	△ 86,723,503	△ 3.8
繰延勘定償却	727,372,117	683,214,597	44,157,520	6.5
雑支出	3,349,160,454	3,125,041,376	224,119,078	7.2
経常利益	2,842,112,262	1,493,786,885	1,348,325,377	90.3
特別利益	6,677,075	547,303,767	△ 540,626,692	△ 98.8
特別損失	2,965,987,829	4,354,919,427	△ 1,388,931,598	△ 31.9
当年度純損失	117,198,492	2,313,828,775	△ 2,196,630,283	△ 94.9
前年度繰越欠損金	2,313,828,775	0	2,313,828,775	—
当年度未処理欠損金	2,431,027,267	2,313,828,775	117,198,492	5.1

(別表2) 比較貸借対照表

(単位：円、%)

科 目	平成24年度		平成23年度		増 (△) 減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) = (A) - (B)	率 (C) / (B) × 100
固定資産	187,910,209,557	71.7	197,914,996,238	69.9	△ 10,004,786,681	△ 5.1
有形固定資産	160,213,816,759	61.1	169,220,954,500	59.8	△ 9,007,137,741	△ 5.3
土地	1,061,284,929	0.4	1,061,284,929	0.4	0	0
立木	53,665,954	0.0	53,697,454	0.0	△ 31,500	△ 0.1
建物	127,474,398,526	48.6	133,501,512,556	47.1	△ 6,027,114,030	△ 4.5
構築物	3,645,616,413	1.4	3,451,710,920	1.2	193,905,493	5.6
器械及備品	25,610,977,023	9.8	28,621,814,626	10.1	△ 3,010,837,603	△ 10.5
車両	10,219,729	0.0	18,768,977	0.0	△ 8,549,248	△ 45.5
建設仮勘定	2,357,654,185	0.9	2,512,165,038	0.9	△ 154,510,853	△ 6.2
無形固定資産	711,221,101	0.3	1,028,754,381	0.4	△ 317,533,280	△ 30.9
無形固定資産	711,221,101	0.3	951,754,381	0.3	△ 240,533,280	△ 25.3
ソフトウェア仮勘定	0	0	77,000,000	0.0	△ 77,000,000	△ 100
投資	26,985,171,697	10.3	27,665,287,357	9.8	△ 680,115,660	△ 2.5
年賦未収金	2,207,945,977	0.8	4,506,673,129	1.6	△ 2,298,727,152	△ 51.0
不動産信託受益権	50,822,742,976	19.4	47,763,772,611	16.9	3,058,970,365	6.4
不動産信託仮勘定	△ 26,119,948,756	△ 10.0	△ 24,681,217,883	△ 8.7	△ 1,438,730,873	5.8
その他投資	74,431,500	0.0	76,059,500	0.0	△ 1,628,000	△ 2.1
流動資産	68,313,129,831	26.1	78,831,825,306	27.8	△ 10,518,695,475	△ 13.3
現金預金	45,255,428,977	17.3	55,474,813,968	19.6	△ 10,219,384,991	△ 18.4
現金	64,616,649	0.0	59,647,172	0.0	4,969,477	8.3
預金	45,190,812,328	17.2	55,415,166,796	19.6	△ 10,224,354,468	△ 18.5
未収金	22,290,254,557	8.5	22,522,089,802	8.0	△ 231,835,245	△ 1.0
医業未収金	19,707,292,944	7.5	19,623,185,810	6.9	84,107,134	0.4
医業外未収金	223,375,742	0.1	578,404,780	0.2	△ 355,029,038	△ 61.4
その他未収金	2,359,585,871	0.9	2,320,499,212	0.8	39,086,659	1.7
貯蔵品	764,451,793	0.3	809,634,356	0.3	△ 45,182,563	△ 5.6
材料	752,224,039	0.3	800,515,636	0.3	△ 48,291,597	△ 6.0
その他貯蔵品	12,227,754	0.0	9,118,720	0.0	3,109,034	34.1
その他流動資産	2,994,504	0.0	25,287,180	0.0	△ 22,292,676	△ 88.2
前払金	2,994,504	0.0	25,287,180	0.0	△ 22,292,676	△ 88.2
繰延勘定	6,009,827,288	2.3	6,465,143,329	2.3	△ 455,316,041	△ 7.0
控除対象外消費税額	6,009,827,288	2.3	6,465,143,329	2.3	△ 455,316,041	△ 7.0
控除対象外消費税額	6,009,827,288	2.3	6,465,143,329	2.3	△ 455,316,041	△ 7.0
資産合計	262,233,166,676	100	283,211,964,873	100	△ 20,978,798,197	△ 7.4

(注) 有形固定資産の減価償却累計額は、平成24年度 133,805,747,802円、平成23年度 133,298,256,347円である。

(単位:円、%)

科 目	平成24年度		平成23年度		増 (△) 減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C) = (A) - (B)	率 (C) / (B) × 100
流動負債	18,435,824,463	7.0	41,548,403,089	14.7	△ 23,112,578,626	△ 55.6
未払金	18,427,105,019	7.0	41,536,067,221	14.7	△ 23,108,962,202	△ 55.6
医業未払金	12,443,147,577	4.7	15,004,531,120	5.3	△ 2,561,383,543	△ 17.1
建設改良未払金	5,077,948,569	1.9	21,849,878,085	7.7	△ 16,771,929,516	△ 76.8
貯蔵品購入未払金	465,291,960	0.2	890,522,746	0.3	△ 425,230,786	△ 47.8
未払消費税及地方消費税	42,494,700	0.0	34,229,000	0.0	8,265,700	24.1
過誤納還付金	6,282,582	0.0	6,133,638	0.0	148,944	2.4
その他未払金	391,939,631	0.1	3,750,772,632	1.3	△ 3,358,833,001	△ 89.6
その他流動負債	8,719,444	0.0	12,335,868	0.0	△ 3,616,424	△ 29.3
預り金	1,017,993	0.0	4,126,162	0.0	△ 3,108,169	△ 75.3
その他流動負債	7,701,451	0.0	8,209,706	0.0	△ 508,255	△ 6.2
負債合計	18,435,824,463	7.0	41,548,403,089	14.7	△ 23,112,578,626	△ 55.6
資本金	238,372,328,136	90.9	236,121,349,215	83.4	2,250,978,921	1.0
自己資本金	112,258,823,039	42.8	108,258,823,039	38.2	4,000,000,000	3.7
借入資本金	126,113,505,097	48.1	127,862,526,176	45.1	△ 1,749,021,079	△ 1.4
企業債	126,113,505,097	48.1	127,862,526,176	45.1	△ 1,749,021,079	△ 1.4
剰余金	5,425,014,077	2.1	5,542,212,569	2.0	△ 117,198,492	△ 2.1
資本剰余金	7,856,041,344	3.0	7,856,041,344	2.8	0	0
受贈財産評価額	3,182,132,457	1.2	3,182,132,457	1.1	0	0
国庫補助金	4,278,454,686	1.6	4,278,454,686	1.5	0	0
その他資本剰余金	395,454,201	0.2	395,454,201	0.1	0	0
欠損金	2,431,027,267	0.9	2,313,828,775	0.8	117,198,492	5.1
当年度未処理欠損金	2,431,027,267	0.9	2,313,828,775	0.8	117,198,492	5.1
資本合計	243,797,342,213	93.0	241,663,561,784	85.3	2,133,780,429	0.9
負債・資本合計	262,233,166,676	100	283,211,964,873	100	△ 20,978,798,197	△ 7.4